

令和3年度 森林環境譲与税の使途

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	税導入の効果（総括）
		うち令和3年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
① 意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	森林経営管理事前アンケート調査	2,000	2,000		森林所有者に対して事前アンケートを実施し、所有者に所有森林の位置を確認してもらうとともに、今後の管理についての意向等を把握。	全体計画策定事前アンケート調査を約88ha実施	令和3年度は森林整備の優先度の高い地域の森林所有者に対して、森林整備に関するアンケート調査を行った。今後、この結果を基に森林整備を実施するための計画を策定していく。 また、令和2年度に急激に被害が拡大したナラ枯れ被害について、令和3年度も補助事業も実施したことで、被害木の倒木等による被害や更なる被害拡大を防ぎ、森林の公益的機能の維持に寄与した。 あわせて、手入れが行き届いていない森林を皆伐・再造林することで、インフラ施設への被害を防ぎ、かつ、良好な自然環境を創出するための事業を行った。 林道の維持管理については、支障木の処理や刈払いを実施し、視距確保など通行の安全を図り、適正な森林管理のための環境整備を行った。 普及事業については、市内の木材関連団体が行う県産材の贈呈等の普及啓蒙活動により、林業の活性化や木材振興に寄与した。 残額は令和4年度以降に実施する意向調査や森林整備に備えるため、一部基金に積み立てた。
⑤ 森林保護対策	ナラ枯れ対策事業	7,836	4,348	3,488	ナラ枯れ被害により枯損し、倒木、落枝等により人身又は家屋等への重大な被害を及ぼす危険性の高い樹木の伐採及び病害虫の駆除を実施する者に対して、補助金を交付。	伐採駆除処理本数 485本	
⑥ 林道・林専道の整備等	林道維持管理事業	6,074	6,074		森林整備に必要な林道の通行の安全や機能維持のため、刈払いによる視距確保や支障木処理などの維持管理を実施。	維持管理 16,400m	
③ 私有林整備	樹種転換推進事業	1,715	1,715		手入れが行届かない森林について、広葉樹等を主体とした森林に転換することにより、インフラ施設への被害を防ぎ、かつ、良好な自然環境を創出するため、所有者に代わって市が事業を実施。	植栽 0.39ha	
④ 公有林整備（財産区有林含む）	緑地等保全事業	2,133	2,133		危険木や倒木の処理、立木の枝打ち、刈払いなど森林を適正に保全するための管理を実施。	危険木伐採 7本 刈払い 1.6ha	
⑯ その他（木材・普及啓発関係）	木材普及事業	500	500		商工会、市木材協同組合、御殿場建築業組合が連携して行う、市内に住宅を新築する市民に対し県産材を贈呈及び職人技のPR活動等の事業へ助成。		
⑰ 基金積立（森林整備等）	御殿場市森林環境譲与税基金	14	14		令和4年度以降に実施する意向調査や森林整備に備えるため、一部基金に積み立てた。		